

シンポジウム

SY1 11月7日(水) 9:00～11:00 A会場(国際会議場)

座長:三根 真理子(長崎原体協)、吉永 信治(量研・放医研 放射線防護情報統合センター)

原爆被爆者の健康を測る～疫学と基礎研究のゆくえ

SY1-1 Epidemiological Findings and Investigations of Their Biological Mechanisms Regarding Radiation-associated Risk of Cancer and Non-cancer Outcomes in the Atomic Bomb Survivors

○Kotaro OZASA
Epidemiology, RERF

SY1-2 Approaches to understanding biological mechanisms of radiation-associated diseases in A-bomb survivors

○Yoichiro KUSUNOKI, Kengo YOSHIDA
Mol Biosciences, RERF

SY1-3 Health status of Atomic Bomb Survivors in Nagasaki, now and future

○Mariko MINE, Kenichi YOKOTA
Scientific Data Registry, Atomic Bomb Disease Inst, Nagasaki Univ.

SY1-4 原爆被爆者にみられた造血管腫瘍研究から分かったこと

○宮崎 泰司
長崎大 原研 血液内科

SY1-5 Studies of atomic bomb survivors -towards further contributions in the field of health effects of radiation

○Shinji YOSHINAGA
Center for Radiation Protection Knowledge, NIRS, QST

SY2 11月7日(水) 13:30～15:30 A会場(国際会議場)

座長:岡崎 龍史(産業医科大 産業生態科学研究所 放射線健康医学)
松田 尚樹(長崎大 原研 放射線生物・防護)

多面的アプローチにより福島を知る

SY2-1 環境に拡散した不溶性放射性粒子の本体と動態

○末木 啓介
筑波大 アイソトープ環境動態研究センター

SY2-2 被ばく線量評価の最新状況

○石川 徹夫
福島医大 放射線物理化学

SY2-3 福島で見られる若年者甲状腺癌の分子病態

- 光武 範史¹、松瀬 美智子¹、Vladimir SAENKO²、鈴木 眞一³、山下 俊一¹
¹長崎大 原研 放射線災害医療、²長崎大 原研 放射線分子疫学、
³福島医大 甲状腺内分泌

SY2-4 廃炉作業者の不安と放射線リテラシー

- 岡崎 龍史
産業医大 産生研 放射線健康医学

SY3 11月7日(水) 13:30～15:30 B会場(リハーサル室)

座長:高田 穰(京都大院 生命 生研)、松本 智裕(京都大院 生命 放生研)

「放射線生物学の研究推進拠点」: 共同利用研究の過去・現在・未来

SY3-1 放射線による獲得耐性

- 石川 冬木
京都大院 生命科学 放生研 細胞周期学

SY3-2 DNA2 本鎖切断応答研究からゲノム編集研究へ

- 中田 慎一郎^{1,2}
¹大阪大 高等共創、²大阪大学院 医 細胞応答制御

SY3-3 低酸素/HIF-1 バイオロジーを基軸とする放射線腫瘍生物学研究 - 放生研の研究プラットフォームを交えて -

- 原田 浩
京都大院 生命科学 放生研 がん細胞生物学

SY3-4 Novel nuclear speckle factor USP42 regulates homologous recombination repair

- Misaki MATSUI¹, Yusuke KIMURA¹, Masako ABE², Syoki KAJITA¹,
Wakana TORII¹, Masamichi ISHIAI³, Minoru TAKATA², ○Ryotaro NISHI¹
¹Dept. Biomed. Sci., College Life Sci., Ritsumeikan Univ.,
²Radiat. Biol. Centre, Grad. Sch. Biostudies, Kyoto Univ.,
³Central Radioisotope Div., Ntl. Cancer Ctr. Res. Inst.

SY3-5 Partitioning of synaptonemal complex phosphorylation promotes meiotic chromosome segregation

- Peter CARLTON^{1,2}, Aya Sato-Carlton¹, Chihiro Tabuchi-Nakamura¹
¹Grad. Schl. Biostudies, Kyoto Univ., ²Radiat. Biol. Ctr., Kyoto Univ.

SY4 11月7日(水) 15:40～17:40 A会場(国際会議場)

座長:細谷 紀子(東京大院 医 疾患生命工学センター 放射線分子医学)

女性科学者が拓く多様な放射線研究

SY4-1 福島第一原発事故による住家内外の残存放射能に関する調査研究

- 吉田 浩子
東北大院 薬 ラジオアイソトープ研究教育センター

- SY4-2** 腸管オルガノイドを用いた線量率効果の機構解明にむけて
○藤通 有希、大塚 健介、富田 雅典、岩崎 利泰
電力中央研究所 原子力技術研究所 放射線安全研究センター
- SY4-3** DSB シグナル伝達と修復におけるヒストン修飾因子とクロマチンリモデリング複合体の機能解析
○宇井 彩子
東京工科大 応用生物
- SY4-4** 波長の異なる紫外線の複合暴露と DNA 損傷修復
○伊吹 裕子
静岡県立大 食品栄養科
- SY4-5** 子宮頸癌の放射線治療予後予測因子としてのバイオマーカー ApoC-II の再現性評価に関する多施設共同前向きコホート研究
○播磨 洋子
関西医大 放

SY5 11月8日(木) 9:00～11:00 A会場(国際会議場)

座長：神谷 研二(広島大 副学長(復興支援・被ばく医療担当))、
高村 昇(長崎大 原研 国際保健医療福祉)

Establishment of Asian network for radiation emergency preparedness and assistance.

- SY5-1** Medical Preparedness and Response for Nuclear/Radiological Emergencies in Republic of Korea and KIRAMS-NREMC's roles
Minsu CHO, Ki Moon SEONG, Chang Youn PARK,
Geun Ryang BAE, Sohyeon KIM, ○Young Woo JIN
National Radiation Emergency Medical Center, Korean Institute of Radiological and Medical Sciences
- SY5-2** Status of Radiation Medical Response System in Taiwan
○Hsien-Hao Huang¹, David Hung-Tsang Yen¹, Wen-Sheng Huang²
¹Departments of Emergency Medicine, Taipei Veterans General Hospital, National Yang-Ming University,
²Departments of Nuclear Medicine, Taipei Veterans General Hospital, National Yang-Ming University
- SY5-3** QST-NIRS's activities to establish and strengthen the Asian network to respond radiation emergency medicine
○OSAMU KURIHARA
QST-NIRS
- SY5-4** Toward the establishment of an international network for radiation disaster medicine in Asia - perspectives from a transformed emergency physician -
○Arifumi HASEGAWA
Department of Radiation Disaster Medicine, Fukushima Medical University School of Medicine

SY6

11月8日(木) 9:00~11:00 B会場(リハーサル室)

座長:細谷 紀子(東京大学院 医 疾患生命工学センター 放射線分子医学)、
田代 聡(広島大 原医研 細胞修復制御)

細胞核構造による放射線生体作用の時空間的制御

SY6-1 放射線誘発核内ドメイン構築の時空間的制御

○田代 聡
広島大 原医研 細胞修復制御

SY6-2 クロマチン基盤構造の多様性と DNA 損傷修復

○胡桃坂 仁志
東京大 定量研 クロマチン構造機能

SY6-3 ヒストンアセチル化を介した損傷クロマチンダイナミクス

○井倉 毅¹、古谷 寛治²、井倉 正枝¹
¹京都大院 生命科学 放生研 クロマチン動態制御、
²京都大院 生命科学 放生研 ゲノム維持機構

SY6-4 がん精巢抗原による DNA 修復を制御する細胞核構造の形成

○細谷 紀子、宮川 清
東京大院 医 疾患生命工学センター 放射線分子医学

SY7

11月9日(金) 9:00~11:00 A会場(国際会議場)

座長:小林 純也(京都大院 生命科学 放生研 がん細胞生物)、
篠原 美紀(近畿大 農 バイオサイエンス)

NBS1 発見 20 年—NBS1,ATM 研究の発展と発症機構解明への研究展開

SY7-1 遺伝子が語る DNA 損傷応答

○小松 賢志
京都大院 生命科学 放生研

SY7-2 酵母 MRX 複合体は ATM の活性化を介して DSB 修復の正確性を保証する

○篠原 美紀
近畿大 農 バイオサイエンス

SY7-3 AT 患者と家族の願い

○小山内 美和子
特定非営利活動法人 ふたつの虹

SY7-4 ATM を標的とした神経芽腫治療法の開発

○高木 正稔
東京医科歯科大 発生発達病態学

SY7-5 幹細胞と神経前駆細胞におけるゲノム維持因子としての NBS1 の機能

○島田 幹男
東工大 科学技術創成研究院 先端原研

SY8

11月9日(金) 9:00～11:00 B会場(リハーサル室)

座長: 田代 聡(広島大 原医研 細胞修復制御)、
粟井 和夫(広島大院 医歯薬保 放射線診断学)

放射線診断のベネフィットと被ばくの最適化

SY8-1 放射線診断検査の最適化と線量管理

○赤羽 正章
国際医療福祉大 放射線医学

SY8-2 本邦における小児CT検査の“正当化”と“最適化”の問題点

○宮崎 治
国立成育医療研究センター 放射線診療部

SY8-3 小児CT診断のリスクとベネフィット

○甲斐 倫明
大分看科大 環境保健

SY8-4 医療被ばく防護に係る最近の国際動向と国内関連学協会の連携

○神田 玲子
量研・放医研 放射線防護情報統合セ

ワークショップ

WS1

11月7日(水) 9:00～10:30 B会場(リハーサル室)

座長: 平山 亮一(量研・放医研 重粒子線治療)、
飯塚 大輔(量研・放医研 放射線影響、文科省 研究振興局)

放射線生物学は今後どこへ向かっていくのか?

WS1-1 科学技術政策の概要とライフサイエンス分野の研究開発の推進体制について

○田川 博雅
文部科学省 研究振興局 ライフサイエンス課

WS1-2 複合領域としての特性を生かした放射線生物学の発展

○宮川 清
東京大院 医 放射線分子医学

WS1-3 放射線生物影響研究における分野横断型融合研究

○伊藤 敦¹、平山 亮一²
¹東海大 工 原子力、²量研・放医研

WS1-4 放射線影響・防護研究における国際的人材育成の必要性

○富田 雅典、岩崎 利泰
電中研 原技研 放射線安全研セ

座長:松本 義久(東工大 科技研究院 先導原研)、
舟山 知夫(量研・高崎研 放射線生物応用)

低線量・低線量率放射線影響の体系的・定量的理解のための新たな視点・概念

WS2-1 放射線の微視的線量分布とマイクロビーム

○舟山 知夫
量研・高崎研 放射線生物応用

WS2-2 DNA 損傷生成・応答に対する線量・線量率の影響モデル

○渡辺 立子¹、服部 佑哉²、横谷 明德¹
¹量研・量子ビーム、²東工大 工学院

WS2-3 DNA 損傷量と等価線量率の関係について考える～低線量・低線量率放射線影響の統一的・定量的理解のために～

○真鍋 勇一郎¹、和田 隆宏²、衣川 哲弘¹、角山 雄一³、中島 裕夫⁴、
坂東 昌子⁵
¹大阪大院 工学 環エネ専攻、²関西大 システム理工、³京都市大 環境安全保健機構、
⁴大阪大 放射線基盤機構、⁵大阪大 核物セ

WS2-4 DNA 損傷・修復の視点から見た低線量率放射線影響

○松本 義久
東工大 科学技術創成研究院 先導原研

WS2-5 食品・医薬品中の存在する低レベルの発がん性化学物質のリスク評価と管理

○本間 正充
国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部

座長:中山 貴文(長崎大 原研 分子医学)、砂押 正章(量研・放医研)

カロリー制限が放射線発がんに与える影響

WS3-1 放射線誘発胸腺リンパ腫のゲノム変異解析によるカロリー制限効果の検討

○中山 貴文^{1,2,3}、尚 奕²、高橋 みずき^{2,3}、砂押 正章²、
ブライス ベンジャミン²、甘崎 佳子²、臺野 和広²、小川 佳那依²、
島田 義也²、立花 章³、柿沼 志津子^{2,3}
¹長崎大 原研 分子医学、²量研・放医研、³茨城大院 理工

WS3-2 子ども期被ばく gpt delta マウスに対するカロリー制限による放射線誘発突然変異の抑制効果および細胞機能への影響

○神代 紗央理¹、杉 菜々美¹、高橋 みずき^{1,2}、中山 貴文^{1,2,3}、
佐川 佳穂¹、尚 奕²、鶴岡 千鶴²、谷 修祐²、砂押 正章²、
森岡 孝満²、ブライス ベンジャミン²、島田 義也²、柿沼 志津子^{1,2}、
立花 章¹

¹茨城大院 理工 量子線科学、²量研・放医研、³長崎大 原研 分子医学

WS3-3 カロリー制限による放射線誘発マウス急性骨髄性白血病抑制メカニズムの検討 -*Sfp1* 遺伝子変異に着目して -

○小嶋 光明¹、井 佑美¹、田代 祐子¹、恵谷 玲央¹、有吉 健太郎²、
甲斐 倫明¹

¹大分看科大、²弘前大 被ばく研

WS3-4 カロリー制限が低線量放射線連続照射マウスに及ぼす影響

○山内 一己

環境科学技術研究所 生物影響研究部

WS4 11月7日(水) 15:10 ~ 16:40 C会場(練習室1)

座長：鈴木 啓司(長崎大 原研 放射線災害医療)、
柿沼 志津子(量研・放医研 放射線影響)

放射線発がんプロセスの生活習慣による修飾

WS4-1 放射線発がんプロセスの生活習慣による修飾

○柿沼 志津子¹、尚 奕¹、森岡 孝満¹、鶴岡 千鶴¹、甘崎 佳子¹、
島田 義也²、鈴木 啓司³

¹量研・放医研 放射線影響、²量研、³長崎大学 原研 放射線災害医療

WS4-2 環境エンリッチメントによる放射線リスク低減効果

○横溝 真哉¹、西村 まゆみ²、森岡 孝満²、鶴岡 千鶴²、尚 奕²、
西村 由希子²、井上 一雅¹、福士 政広¹、柿沼 志津子²、島田 義也³

¹首都大院 人間健康 放射線、²量研・放医研 放射線影響、³量研

WS4-3 環境エンリッチメントを用いた、低線量率放射線長期被ばくの悪影響を緩和する試み

○高井 大策¹、安部 暁子²、田中 聡¹、小村 潤一郎¹

¹環境研 生物影響、²株ジェー・エー・シー

WS4-4 小児期肥満による発がんリスク

○尚 奕¹、森岡 孝満¹、鶴岡 千鶴¹、甘崎 佳子¹、品川 まゆみ¹、
鈴木 啓司²、柿沼 志津子¹

¹量研・放医研 放射線影響、²長崎大学 原研 放射線災害医療

WS4-5 小児期の放射線被ばくと高脂肪食摂取の複合効果からみる線量率効果と発がん及び炎症の関係

大塚 健介、藤通 有希、○星 裕子

電中研・原技研 放射線安全研セ

WS4-6 組織反応における放射線と生活習慣等の相互作用

- 鈴木 啓司¹、尚 奕²、森岡 孝満²、柿沼 志津子²
¹長崎大 原研 放射線災害医療、²量研・放医研 放射線影響

WS5 11月8日(木) 9:00～10:30 C会場(練習室1)

座長：續 輝久(福歯大 先端科学研究センター)、甲斐 倫明(大分県立看護科学大)

国民の放射線リテラシーの向上：医療系人材養成課程と全学教育

WS5-1 日本学術会議の放射線防護・リスクマネジメント分科会から発出された「提言」以降の動向

- 續 輝久¹、神田 玲子²
¹福歯大 先端科学研究センター、²量研・放医研

WS5-2 薬学生に対する放射線健康リスク科学教育の現状と問題点について

- 高井 伸彦
長崎国際大 薬 放射線薬学

WS5-3 歯学生に対する放射線健康リスク科学教育の現状紹介

- 犬童 寛子、馬嶋 秀行
鹿児島大 医歯 腫瘍 顎顔面放射線学

WS5-4 看護系大学における放射線教育のあり方

- 甲斐 倫明
大分看科大 環境保健

WS5-5 学内の日本人学生の放射線に対する意識の変遷と外国人の放射線業務従事者の放射線についての知識の現状

- 中島 裕美子¹、安富祖 仁²、佐藤 直紀³、藤淵 俊王³、野邊 由紀子⁴、大野 みずき⁵、平田 悠真³、山里 眞⁶、續 輝久⁷、玉城 史朗²
¹九州大 アイソトープ統合安全管理センター、²琉球大 工 工学科知能情報コース、³九州大院 医 保健学、⁴九州大 有体物管理センター、⁵九州大院 医・基礎医学、⁶東京女子大 現代教養 数理科学科、⁷福岡歯科大 先端科学研究センター

WS6 11月8日(木) 9:00～10:30 D会場(練習室2)

座長：倉岡 功(福岡大 理 化学科)、日出間 純(東北大院 生命科学)

紫外線障害における高次生体防御反応

WS6-1 紫外線誘発 DNA 損傷修復の高次制御機構

- 菅澤 薫
神戸大 バイオシグナル総研

WS6-2 タンパク質間相互作用による損傷乗り越え DNA 複製の制御

- 益谷 央豪^{1,2}、金尾 梨絵^{1,2}、宋 昊云^{1,2}、松尾(楠本) 理加¹、増田 雄司^{1,2}
¹名古屋大 環医研 ゲノム動態制御、²名古屋大院 医

WS6-3 (6-4) 光回復酵素の DNA 分子認識・修復機構

○山元 淳平
阪大院 基礎工

WS6-4 植物の核・ミトコンドリア・葉緑体 DNA 上の CPD 蓄積と UVB 感受性

GONUL Dundar、原 遵、高橋 有希、寺西 美佳、○日出間 純
東北大院 生命科学

WS6-5 ヒトヌクレオチド除去修復によって修復される DNA 損傷の解析

○倉岡 功
福岡大 理 化学科

WS7 11月8日(木) 10:40～12:10 C会場(練習室1)

座長:杉田 克生(千葉大 教育 基礎医科学)、
松田 尚樹(長崎大 原研 放射線生物・防護学)

次世代放射線健康リスク教育開発の試み

WS7-1 中学校、高等学校での次世代放射線健康リスク教育実践

○杉田 克生
千葉大 教 基礎医科学

WS7-2 新しい医学教育モデルコアカリキュラムに準拠した放射線基礎教育への対応と課題

○浦田 芳重
長崎大 医 先端医育センター

WS7-3 医学部における放射線健康リスク科学教育の必修化を支える教育システムの構築

○細井 義夫
東北大院 医 放射線生物

WS7-4 緊急モニタリングプラットフォーム構築のための教育研究プログラム

○松田 尚樹
長崎大 原研 放射線生物・防護学

WS8 11月9日(金) 9:00～10:30 C会場(練習室1)

座長:西 良太郎(立命館大 生命科学 生命医科)、森 英一朗(奈医大 医 未来基礎医)

DNA 損傷応答研究の最先端:分子機構、蛋白質物性から微小環境まで

WS8-1 RAD51 パラログと新規アンチリコンビナーゼによる相同組換え制御の解析

○松壽 健一郎、石川 達也、近藤 静香、篠原 彰
大阪大 蛋白研

WS8-2 One-ended DNA 二本鎖切断の修復経路解析

○逆井 良、松井 理、砂谷 優実、岩淵 邦芳
金沢医大 生化学 I

WS8-3 DNA クロスリンク修復因子 SLX4 のユビキチン化による制御機構

○勝木 陽子¹、安倍 昌子¹、中田 慎一郎²、鐘巻 将人³、矢部 みはる⁴、
矢部 普正⁴、高田 穰¹
¹京都大院 生命科学 放生研、²阪大院 医 細胞応答制御、³遺伝研 分子細胞工学、
⁴東海大 医 細胞移植

WS8-4 LC ドメインによるタンパク質の機能制御

○森 英一朗
奈医大 医 未来基礎医

WS8-5 DNA 損傷応答と心臓再生

○木村 航
理研 生命機能科学研究センター

WS9 11月9日(金) 9:00 ~ 10:30 D会場(練習室2)

座長: 築瀬 澄乃(大東大 スポ健)、鈴木 芳代(量研・高崎研 放射線生物応用)

モデル生物「線虫」を用いた放射線ストレス応答研究の新展開

WS9-1 線虫の運動機能に対する放射線の影響 ~線質と照射領域による比較~

○鈴木 芳代、坂下 哲哉、舟山 知夫
量研・高崎研 放射線生物応用

WS9-2 高濃度酸素およびコバルト 60 ガンマ線照射によるモデル生物線虫の寿命への影響

○築瀬 澄乃^{1,2}、鈴木 芳代³、秋山(張)秋梅⁴、坂下 哲哉³
¹大東大 スポ健、²東海大 医、³量研・高崎研、⁴京都大 理

WS9-3 線虫の運動に対する放射線影響とその回復におけるオートファジーの関与

○山崎 晃¹、鈴木 芳代²、舟山 知夫²、小林 泰彦²、秋山(張)秋梅¹
¹京都大院 理、²量研・高崎研 放射線生物応用

WS9-4 線虫 *C. elegans* の DAF-16/FoxO を介した新たな静水圧応答

○渡辺 尚^{1,6}、森松 賢順²、西山 雅祥³、渡邊 賢⁴、鍵 裕之⁵、
成瀬 恵治²、東谷 篤志¹
¹東北大院 生命、²岡山大院 医歯薬、³近畿大 理工、⁴東北大院 工、⁵東京大院 理、
⁶宮教大 教育 理科教育

WS9-5 線虫 *C. elegans* において僅か 2 つのニューロン内のキサンチンデヒドロゲナーゼが個体の低温耐性を制御する

○高垣 菜式¹、太田 茜¹、水口 洋平²、豊田 敦²、久原 篤^{1,3}
¹甲南大 統合ニューロバイオロジー研究所、²国立遺伝学研究所、³PRIME, AMED

WS10

11月9日(金) 11:10～12:40 A会場(国際会議場)

座長:内村 有邦(放影研 分子生物科学)、今岡 達彦(量研・放医研 放射線影響)

次世代シーケンサーを用いた解析から放射線の生物影響を考える

WS10-1 次世代シーケンサーを用いた低線量放射線影響研究

○金井 昭教¹、清水 なつみ²、長町 安希子¹、河合 秀彦³、稲葉 俊哉¹
¹広島大 原医研、²理研 生命機能科学研究センター、³広島大 医歯薬保

WS10-2 全エクソシーケンスによる Mlh1 欠損マウス由来胸腺リンパ腫のゲノム解析

○臺野 和広¹、石川 敦子¹、菅 智²、甘崎 佳子¹、今井 高志³、
島田 義也⁴、柿沼 志津子¹
¹量研・放医研 放射線影響、²量研・放医研 放射線障害、³量研・放医研 病院、
⁴量研

WS10-3 精原細胞期と成熟卵母細胞期のマウス生殖細胞への放射線照射は子どものゲノムに小さなサイズの欠失とマルチサイト変異を誘発する

○佐藤 康成¹、Tony Kuo²、瀬々 潤²、西村 まゆみ³、島田 義也⁴、
中村 典¹、内村 有邦¹
¹放影研 分子生物、²産総研 人工知能セ、³量研・放医研 放射線影響、⁴量研

WS10-4 次世代シーケンサーを用いた近距離被爆者世代間での新規突然変異検出

○蓬萊 真喜子¹、三嶋 博之²、林田 知佐²、木下 晃²、中根 允文³、
松尾 辰樹³、鶴田 一人⁴、柳原 克紀⁴、佐藤 信也¹、今西 大介¹、
今泉 芳孝¹、波多 智子¹、宮崎 泰司¹、吉浦 孝一郎²
¹長崎大 原研 血液内科、²長崎大 原研 人類遺伝学、³長崎原対協、
⁴長崎大 病院 臨床検査部

WS11

11月9日(金) 11:10～12:40 B会場(リハーサル室)

座長:鈴木 正敏(東北大 災害復興新生研究機構)、山田 裕(量研・放医研 福島再生支援)

不溶性セシウム粒子による放射線影響解明への取り組み

WS11-1 福島事故に由来する放射性セシウムを濃集した不溶性粒子の性質

○二宮 和彦
阪大院 理

WS11-2 放射性微粒子を用いた細胞実験条件の被曝線量評価

○遠藤 暁¹、中村 駿介¹、松谷 祐輝¹、梶本 剛¹、田中 憲一¹、
鈴木 正敏²、福本 学³
¹広島大院 工、²東北大 災害復興機構、³東京医科大院 医

WS11-3 粒子状放射性物質の生体内挙動・代謝の特徴

○高橋 千太郎¹、岩田 佳代子²、高橋 知之^{1,2}
¹京都大 複合原子力科学研究所 放射線管理学、²京都大院 農 地域環境科学

WS11-4 不溶性セシウム粒子による細胞影響

- 鈴木 正敏¹、遠藤 暁²、松谷 祐輝²、二宮 和彦³、佐藤 志彦⁴、
小荒井 一真⁵、木野 康志⁵、末木 啓介⁶、福本 学⁷
¹東北大 災害復興新生研究機構、²広島大院 工 量子エネルギー、
³大阪大院 理 放射化学、⁴原子力機構 廃炉センター、⁵東北大院 理 放射化学、
⁶筑波大 アイソトープ、⁷東京医科大 分子病理

WS11-5 粒子状放射性物質の影響解明に向けた動物実験の提言（指定発言）

- 山田 裕
量研・放医研 福島本部

WS12

11月9日（金） 11：10～12：40 C会場（練習室1）

座長：児玉 靖司（大阪府大院 理 生物科学専攻 放射線生物）、
神田 玲子（量研・放医研 放射線防護情報統合セ）

放射線防護・放射線規制における関連学会の連携と放射線影響学会の役割

WS12-1 放射線リテラシー向上に日本放射線影響学会はどのように取り組むか

- 児玉 靖司
大阪府大院 理 生物科学 放射線生物

WS12-2 放射線防護・放射線規制における日本放射線安全管理学会の取り組みと日本放射線影響学会との連携

- 中島 覚
広島大 自然セ

WS12-3 放射線規制の科学的根拠を提供するために放射線影響研究を推進する役割

- 小林 純也
京都大院 生命科学 放生研 がん細胞生物

WS12-4 原子力規制委員会における放射線防護・規制に関する最近の取組み

- 大町 康
原子力規制庁 放射線防護企画課

WS12 追加発言 -1

- 甲斐 倫明
大分県立看護科学大

WS12 追加発言 -2

- 細井 義夫
東北大院 医学系研究科 放射線生物

優秀演題発表賞候補

OA1 放射線影響など 11月7日(水) 11:10~12:10 A会場(国際会議場)

座長: 田内 広(茨城大 理 生物科学領域)、
宮本 達雄(広島大 原医研 放射線ゲノム疾患)

OA1-1 放射線誘発マウスTリンパ腫における *Ikaros* のゲノム変異と関連するエピゲノム異常

○武井 怜奈^{1,2}、臺野 和広¹、砂押 正章¹、甘崎 佳子¹、森岡 孝満¹、
永田 喜三郎³、野川 宏幸⁴、松浦 彰⁴、島田 義也¹、柿沼 志津子¹
¹量研・放医研、²千葉大院 融合理工、³東邦大 理、⁴千葉大院 理学研究科

OA1-2 Analysis of the number of chromosome aberrations induced by three consecutive CT examinations

○Yu ABE¹, Hideyoshi NOJI², Misaki SUGAI¹, Yumiko KUROSU³,
Naohiro TSUYAMA¹, Aki YANAGI¹, Yukari YANAI¹, Takashi OHBA⁴,
Tetsuo ISHIKAWA^{3,5}, Tomisato MIURA⁶, Kenji KAMIYA^{3,7},
Mitsuaki YOSHIDA⁸, Akira SAKAI^{1,3}
¹Dept. of Radiation Life Sciences, Sch. Med, Fukushima Medical Univ FMU,
²Dept. of Medical Oncology, FMU, ³Radiation Medical Science Center of FMU,
⁴Dept. of Radiation Health Management, FMU,
⁵Dept. of Radiation Physics and Chemistry, FMU,
⁶Grad. Sch. Health Sciences, Hirosaki Univ, ⁷RIRBM, Hiroshima Univ,
⁸Inst of Rad Emer Med, Hirosaki Univ

OA1-3 全エクソーム解析による放射線誘発ラット乳がんのゲノム変異探索

○森山 ひとみ¹、臺野 和広²、今岡 達彦^{1,2}、高島 賢^{1,2}、西村 由希子²、
石川 敦子²、森岡 孝満²、福土 政広¹、島田 義也³、柿沼 志津子²
¹首都大 人間健康科学 放射線、²量研・放医研 放射線影響、³量研

OA1-4 高線量率ばくマウスの骨髄中造血前駆細胞の損傷の特徴

○森野 友貴¹、寺田 賢司¹、佐藤 孝徳¹、千葉 満²、WOJCIK Andrzej³、
門前 暁¹
¹弘前大院 保 放射線技術、²弘前大院 保 生体検査、
³ストックホルム大 放射線防護研究センター

OA1-5 Functional Analysis of Disease-associated XRCC4 Mutations and Its Implication in the Development of Immune and Neural Systems

○Anie Day De Castro ASA^{1,2}, Rujira WANOTAYAN^{1,3},
Mukesh Kumar SHARMA^{1,4}, Mikio SHIMADA^{1,2}, Yoshihisa MATSUMOTO^{1,2}
¹Dept. Nucl. Eng., Tokyo Inst. Tech.,
²Lab. Adv. Nucl. Energy, Inst. Innov. Res., Tokyo Inst. Tech., ³Mahidol Univ., Thailand,
⁴Dept. Zool., SPC Gov. College, India

OA2 治療生物学など 11月7日(水) 10:40～12:10 B会場(リハーサル室)

座長: 今泉 美彩(放影研 長崎臨床研究)、大津留 晶(福島医大 放射線健康管理)

OA2-1 重粒子線誘発 DSB クラスター領域での DNA end resection 促進機構の解明

- 萩原 慶彦^{1,2}、安原 崇哲³、山内 基弘⁴、尾池 貴洋¹、佐藤 浩央¹、
中野 隆史¹、柴田 淳史²
¹群馬大院 医 腫瘍放射線学、²群馬大院 教育研究支援センター、
³東京大院 医 疾患生命工学センター 放射線分子医学、
⁴長崎大 原研 放射線生物・防護学分野

OA2-2 悪性黒色腫に対するアデノシン受容体阻害薬の放射線増感効果

- 田中 悠太、北畠 和己、月本 光俊
東京理大院 薬 放射線生命科学

OA2-3 高線量放射線被ばく個体に対する国内承認薬ロミプロスチムの放射線緩和効果

- 山口 平¹、廣内 篤久²、柏倉 幾郎¹
¹弘前大院 保 放射線技術科学、²環境研 生物影響研究部

OA2-4 重粒子線照射単独またはシスプラチンとの併用による骨肉腫細胞への影響

- 新田 祐樹^{1,2}、崔 星³、今井 礼子⁴、鈴木 雅雄³、藤森 亮³、
鎌田 正⁴、辻井 博彦⁴、山田 滋⁴
¹千葉大院 医薬、²量研・放医研 加速器工、³量研・放医研 障害治療、
⁴量研・放医研 病院

OA2-5 肺がん細胞における γ 線誘発 EGFR 核移行および DNA 損傷応答におけるアデノシン受容体の関与

- 北畠 和己¹、鍛冶 利幸²、月本 光俊¹
¹東京理大院 薬 放射線生命科学、²東京理大院 薬 環境健康学

OA2-6 γ 線照射によるがん細胞転移能獲得における TRP チャネルの関与

- 鷲谷 くるみ、佐々木 理恵、中西 勇人、高井 英里奈、篠原 佑璃亜、
西野 圭祐、田沼 靖一、小島 周二、月本 光俊
東京理大院 薬 放射線生命科学

OA2-7 重粒子線誘導性 DAMPs を介した遠隔腫瘍の生着拒絶および転移抑制の検討

- 馬 立秋、吉田 由香里、高橋 昭久
群馬大 重粒子線医学研究センター

OA3 損傷・修復など

11月7日(水) 10:40～12:10 C会場(練習室1)

座長:原田 浩(京都大院 生命 放生研 がん細胞生物)、
吉田 光明(弘前大 被ばく医療総合研究所 放射線生物)

OA3-1 iPS細胞におけるゲノム安定性維持に関わるリン酸化・脱リン酸化機構解析

- 香川 望¹、塚田 海馬¹、土屋 尚代¹、島田 幹男^{1,2}、松本 義久^{1,2}
¹東工大院 環境・社会理工学 融合理工学系 原子核工学、
²東工大院 科学技術創成 先導原子力研究所

OA3-2 カロリー制限が子ども期被ばくマウスにおける欠失突然変異に及ぼす影響とDNA修復機構との関連

- 杉 菜々美¹、中山 貴文²、尚 奕³、鶴岡 千鶴³、谷 修祐³、
砂押 正章³、森岡 孝満³、プライス ベンジャミン³、島田 義也³、
柿沼 志津子^{1,3}、立花 章¹
¹茨城大院 理工 量子線科学、²長崎大 原研 分子医学、
³量研・修復放医研 放射線影響

OA3-3 PDMSマイクロ流路チップを用いたDNA損傷評価システムの開発

- 高橋 健太¹、田村 隆大²、鈴木 孝明²、中村 麻子¹
¹茨城大 理、²群馬大 理工

OA3-4 XRCC4タンパク質の擬似リン酸化による構造変化の解析

- 西久保 開^{1,2}、長谷川 真保^{2,3}、泉 雄大⁴、藤井 健太郎²、松尾 光一⁴、
松本 義久⁵、横谷 明德²
¹茨城大 理工、²量研、³茨城大 理、⁴広島大 放射光科学研究センター、
⁵東京工業大院 科学技術創成

OA3-5 内在性レトロエレメントLINE-1の選択的転移による発がん制御機構

- 飯島 健太、石坂 幸人
国立国際医療研究センター研究所 難治性疾患研究部

OA3-6 ESR法による新規ミトコンドリア機能評価法を用いたがん細胞の放射線応答の解析

- 山本 久美子、安井 博宣、房 知輝、山盛 徹、稲波 修
北海道大院 獣医 放射線

OA3-7 放射線により引き起こされる分裂期崩壊に対するミトコンドリア分裂の寄与メカニズムの解析

- 房 知輝、山盛 徹、山本 久美子、稲波 修
北海道大院 獣医 放射線

一般口演

01 損傷・修復（1）

11月7日（水） 9：00～10：30 D会場（練習室2）

座長：山内 基弘（長崎大 原研 放射線生物・防護学）、
沖 昌也（福井大院 工 生物化学）

01-1 ラット乳腺細胞の放射線応答から放射線影響のメカニズムを探る

- 工藤 健一、西村 由希子、高島 賢、臺野 和広、飯塚 大輔、
柿沼 志津子、今岡 達彦
量研・放医研 放射線影響

01-2 エピジェネティックな発現制御によるX線耐性機構の解析

- 田中 元基¹、畑下 昌範²、内田 博之¹、沖 昌也^{1,3}
¹福井大院 工 生物化学、²若狭湾エネルギー研究センター 研究開発部、³福井大 ライフサイエンスイノベーションセンター

01-3 PUM1 タンパク質による mRNA 分解制御が、DNA 障害後の細胞生存を促進する

- 秋光 信佳¹、山田 俊理²、今町 直登¹、仲木 竜³、川村 猛¹、
長浜 正巳²
¹東京大 アイソトープ、²明治薬大 薬、³レリクサ社

01-4 酸化ストレス応答における線虫 *C. elegans* ATM の役割

- 秋山（張）秋梅¹、山崎 晃¹、森脇 隆仁^{1,2}
¹京都大院 理、²長崎大 原研

01-5 相同組換え修復への経路切り替えを促進する時空間的 53BP1 動態制御機構

- 磯野 真由¹、萩原 慶彦^{2,5}、佐藤 浩央²、尾池 貴洋²、西 良太郎³、
中田 慎一郎⁴、中野 隆史²、鈴木 啓司¹、柴田 淳史⁵
¹長崎大 原研 放射線災害医療、²群馬大 医 腫瘍放射線、³立命館大 生命科学、⁴大阪大 医 細胞応答制御、⁵群馬大 医 大学院教育研究支援センター

01-6 マウス胎児期の脳組織におけるX線誘発 DNA2 本鎖切断修復動態

- 尾家 彩加、白石 一乗、児玉 靖司
大阪府大院 理 生物科学 放射線生物

01-7 ライブセルイメージングを利用したX線誘発小核の解析

- 湯川 瑠夏¹、児玉 靖司¹、杉本 憲治²、白石 一乗¹
¹大阪府大院 理 生物科学 放射線生物、²大阪府立大院 生命 応用分子生物

座長：笹谷 めぐみ (広島大 原医研 分子発がん)、
光武 範吏 (長崎大 原研 放射線災害医療)

02-1 放射線被ばくによるマウス B 細胞性リンパ腫の発症と遺伝子変異

- 橘 拓孝^{1,2}、臺野 和広²、森岡 孝満²、石川 敦子²、尚 奕²、
金 小海²、小川 真里²、藤田 美鈴²、永田 喜三郎³、小林 芳郎⁴、
野川 宏幸⁵、松浦 彰⁵、島田 義也⁶、柿沼 志津子²
¹千葉大院 融合理工 生物、²量研・放医研 放射線影響、³東邦大 理 生物分子、
⁴東邦大、⁵千葉大院 理 生物、⁶量研

02-2 ラット乳腺上皮細胞移植実験系を用いた放射線照射・非照射細胞間の細胞競合モデルの検討

- 今岡 達彦、西村 由希子、工藤 健一、太田原 雅美、小川 真里、
藤田 美鈴、高島 賢、飯塚 大輔、西村 まゆみ、臺野 和広、
柿沼 志津子
量研・放医研 放射線影響

02-3 放射線被ばく後のマウス胸腺再生過程における年齢依存性

- 砂押 正章¹、ブライス ベンジャミン¹、尚 奕¹、鶴岡 千鶴¹、
森岡 孝満¹、西村 まゆみ¹、甘崎 佳子¹、品川 まゆみ¹、小川 真里¹、
島田 義也¹、立花 章²、柿沼 志津子^{1,2}
¹量研・放医研 放射線影響、²茨城大院 理工

02-4 放射線誘発がん関連線維芽細胞は、活性酸素による TGF β シグナリング経路の活性化を介してがんの増殖を促進する

- 志村 勉¹、笹谷 めぐみ²、河合 秀彦²、神谷 研二²、小林 純也³、
小松 賢志³、樺田 尚樹¹
¹国立保健医療科学院、²広島大 原医研、³京都大院 生命科学

02-5 年齢・組織依存的高発がんモデル：メダカ rev3l 変異体

- 藤川 芳宏¹、藤原 智子²、佐藤 鮎子³、佐久間 哲史⁴、山本 卓⁴、
児玉 靖司⁵、辻村 亨³、藤堂 剛¹
¹大阪大 放科基、²大阪大院 医 遺治、³兵医大 病理、⁴広大院 理 数理分生、
⁵大府大院 理 放生

02-6 放射線誘発髄芽腫の発生過程における前がん病変の解析

- 鶴岡 千鶴、森岡 孝満、上西 陸美、品川 まゆみ、柿沼 志津子
量研・放医研 放射線影響

02-7 *Apc*^{Min/+} マウスを用いた低線量放射線発がんリスク評価

- 笹谷 めぐみ¹、土居 主尚²、飯塚 大輔²、神谷 研二¹
¹広島大 原医研 分子発がん、²量研・放医研 放射線影響

03 疫学・被曝影響 (1) 11月7日(水) 13:30～14:30 D会場(練習室2)

座長：高村 昇(長崎大 原研 国際保健医療福祉)、
床次 眞司(弘前大 被ばく医療総合研究所 放射線物理)

03-1 セミパラチンスク核実験場における土木作業員たちの線量推計

○高田 純
札幌医科大 物理

03-2 非噴門部胃癌の放射線リスクにおける慢性萎縮性胃炎の影響

○大石 和佳¹、植田 慶子^{1,7}、カリングス ハリー²、藤原 佐枝子^{1,8}、
鈴木 元⁵、林 奉権⁴、飛田 あゆみ¹、小笹 晃太郎³、田原 榮一⁶
¹放影研 臨床、²放影研 統計、³放影研 疫学、⁴放影研 分生科学、⁵国際医福大、
⁶広島がんセミナー、⁷中電病院、⁸安田女大

03-3 原子力発電所等放射線業務従事者におけるICRP/ICRU実用量レポートに準拠した実効線量の新たな実用量換算係数の試算

○古田 裕繁、西出 朱美、工藤 伸一、吉本 恵子、三枝 新
放射線影響協会

03-4 X線透視検査および手術に従事する整形外科医師における染色体異常解析

○三浦 富智^{1,2}、越後谷 直樹³、藤嶋 洋平¹、
ゴー ヴアレリースイーティング¹、有吉 健太郎²、葛西 宏介¹、
中田 章史⁴、石橋 恭之⁵、吉田 光明²
¹弘前大院 保、²弘前大 被ばく研、³弘前記念病院 整形、⁴北海道科学大 薬学、
⁵弘前大院 医 整形

03-5 累積線量が50mSv以上の放射線業務従事者における食事の傾向

○西出 朱美、工藤 伸一、吉本 恵子、古田 裕繁、三枝 新
放射線影響協会

04 治療生物学 11月7日(水) 14:40～15:40 D会場(練習室2)

座長：工藤 崇(長崎大 原研 アイソトープ診断治療)、
一戸 辰夫(広島大 原医研 血液・腫瘍内科)

04-1 低栄養状態において活性化されたDNA-PKcsによるゴルジ体膜タンパク質GOLPH3の制御

○村田 泰彦、橋本 拓磨、漆原 佑介、志賀 壮一郎、細井 義夫
東北大院 医 放射線生物

04-2 低酸素状態がATMとDNA-PKcsの発現と活性化に及ぼす影響

○橋本 拓磨¹、村田 泰彦¹、漆原 佑介¹、志賀 壮一郎¹、武田 一也^{1,2}、
細井 義夫¹
¹東北大院 医 放射線生物、²東北大院 医 放射線腫瘍

04-3 粒子線がん治療時の正常組織被ばく線量の生物学的推定

○松本 英樹¹、前田 宗利²、久米 恭²、平山 亮一³、鶴澤 玲子³、
古澤 佳⁴
¹福井大 医 放射線基礎医学、²若狭湾エネ研セ 研究開発 粒子線医療、
³量研・放医研 重粒子、⁴量研・放医研 障害治療

04-4 5- アミノレブリン酸 - 放射線力学療法のメカニズムおよび効果検証

○高橋 淳子¹、岩橋 均²
¹産業技術総合研究所、²岐阜大

04-5 ストレス応答キナーゼ STK38 の安定性と増感への応用

○榎本 敦¹、深澤 毅倫^{1,2}、宮川 清¹
¹東京大院 医 放射線分子医学、²東京大院 医 皮膚科

05 低線量・低線量率 11月8日(木) 11:10～12:10 A会場 (国際会議場)

座長：河合 秀彦 (広島大院 医歯薬保 核酸分析化学)、
小村 潤一郎 (環境研 生物影響)

05-1 放射線照射後の乳腺末梢芽状突起の細胞数動態推定モデル

○服部 佑哉¹、今岡 達彦²、横谷 明德²、渡辺 立子²
¹東工大 工、²量研

05-2 低線量率放射線照射によって発生したマウスの脂肪肝の遺伝子発現解析

○杉原 崇¹、田中 聡¹、田中 ブラガ¹、村野 勇人²、村野 正子²、
小村 潤一郎¹
¹環境研 生物影響、²東北環境科学サービス

05-3 低線量率放射線長期連続照射によるマウス急性骨髄性白血病の起因となる Sfp1 遺伝子変異の線量率依存性の解析

○小嶋 光明¹、廣内 篤久²、恵谷 玲央¹、有吉 健太郎³、甲斐 倫明¹
¹大分県立看護大、²環境研 生物影響研究部、³弘前大 被ばく研

05-4 低線量率放射線による造血幹細胞の機能低下とその分子機序

○大野 芳典¹、竹立 恭子¹、郭 芸²、菅野 雅元²、白須 直人³、
安永 晋一郎³、大坪 素秋⁴、瀧原 義宏^{1,5}
¹広島大 原医研 幹細胞機能学、²広島大院 医歯薬保 免疫学、³福岡大 医 生化学、
⁴別府大 食物栄養科学 発酵食品、⁵日赤・大阪府赤十字血液センター

05-5 反復・緩照射に対する抵抗性を獲得したヒト二倍体細胞の DNA 損傷応答反応

○鈴木 正敏¹、木野 康志²、福本 学³
¹東北大 災害復興新生研究機構、²東北大院 放射化学、³東京医科大 分子病理

06 放射線影響 (2) 11月8日(木) 11:10～12:10 B会場 (リハーサル室)

座長：李 桃生 (長崎大 原研 幹細胞生物)、志村 勉 (国立保健医療科学院)

06-1 カロリー制限による子ども期被ばくマウスでの放射線誘発突然変異の抑制と酸化ストレスとの関連

○神代 紗央理¹、中山 貴文²、尚 奕³、鶴岡 千鶴³、谷 修祐³、
砂押 正章³、森岡 孝満³、ブライス ベンジャミン³、島田 義也³、
柿沼 志津子^{1,3}、立花 章¹
¹茨城大院 理工 量子線科学、²長崎大 原研 分子医学、³量研・放医研 放射線影響

06-2 メダカ胚網膜で見出された休止組織幹細胞の増殖再開による放射線損傷の修復機構

○保田 隆子、平川 慶、中澤 拓哉、釜堀 みゆき、永田 健斗、
三谷 啓志、尾田 正二
東京大院 新領域 動物生殖システム

06-3 低線量 X 線が誘発する体細胞突然変異体の解析

○長島 明輝¹、細江 一稀¹、白石 久美子¹、大川 沙織¹、小松 賢志²、
立花 章¹、田内 広¹
¹茨城大院 理工 量子線科学、²京大 生命科学 放生研

06-4 The probable role of mesenchymal stem cells-derived exosomes in radiation-induced cardiovascular diseases

○XU ZHANG, LAN LUO, TAOSHENG LI
Department of Stem Cell Biology, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University

06-5 動物用 X 線 CT を用いたマウス造血幹細胞に与える影響 - 全身照射と部分照射の比較

○恵谷 玲央、小嶋 光明、下田 優輝、甲斐 倫明
大分看科大

07 損傷・修復 (2) 11月8日 (木) 10:40 ~ 12:10 D会場 (練習室2)

座長：松浦 伸也 (広島大 原医研 放射線ゲノム疾患)、
安田 武嗣 (量研・放医研 緊急被ばく医療研究センター 被ばく医療研究プログラム)

07-1 低線量域において ATM が細胞核-細胞質間情報伝達に果たす役割

○前田 宗利¹、松本 英樹²、富田 雅典³
¹若狭湾エネ研七 研究開発・粒子線医療、²福井大 医 放射線基礎医学、
³電中研 原技研 放射線安全研セ

07-2 細胞核への放射光 X 線限定的照射による細胞致死効果に対する予め
細胞質への X 線照射による適応応答誘導

○鈴木 雅雄¹、宇佐美 徳子²
¹量研・放医研 放射線障害治療、²高エネ機構・物構研 放射光科学

07-3 ヒト RAD52 のアセチル化は DNA 相同組換えに関わる

○安田 武嗣¹、香川 亘²、鈴木 健裕³、堂前 直³、滝澤 和也¹、
五月女 美香²、田嶋 克史¹
¹量研・放医研、²明星大 理工学部、³理研 環境資源科学研究センター

07-4 PCNA との相互作用によるヒト DNA ポリメラーゼ η の制御機構

○増田 雄司、益谷 央豪
名古屋大 環医研 ゲノム動態制御

07-5 霊長類細胞を用いた DNA 損傷応答の多様性の解析

○QI FEI^{1,2}、河村 香寿美^{1,2}、今井 啓雄³、平井 啓久³、小林 純也^{1,2}
¹京大院 人間・環境学 相関環境学、²京大 放射線生物研究センター、
³京大 霊長類研究所

07-6 DNA二本鎖切断の相同組換え修復におけるBRCA1とスプライシング因子SART1の関係

○山内 基弘¹、柴田 淳史²、安原 崇哲³、萩原 慶彦⁴、平川 美弥子⁵、
ハン ムームー⁶、鈴木 啓司⁷、松田 尚樹¹

¹長崎大 原研 放射線生物・防護学、²群馬大院 医 教育研究セ、

³東京大院 医 疾患生命工学セ 放射線分子、⁴群馬大院 医 腫瘍放射線学、

⁵長崎大 先導セ アイソ、⁶長崎大院 医歯薬、⁷長崎大 原研 放射線災害医療

07-7 In cellulo phosphorylation of DNA double-strand break repair protein XRCC4 on Ser260 by DNA-PK

○Ali Reza AMIRI MOGAHANI¹, Mukesh Kumar SHARMA^{1,2},
Yoshihisa MATSUMOTO¹

¹Lab. Adv. Nucl. Energy, Inst. Innov. Res., Tokyo Inst. Tech.,

²Department of Zoology, SPC Government College, India

08 放射線応答(2) 11月9日(木) 10:40～11:40 D会場(練習室2)

座長：増田 雄司(名古屋大 環境医学研究所 ゲノム動態制御)、
松本 義久(東工大 科学技術創成研究院 先導原子力研究所)

08-1 被ばくによる生体レドックス状態の変化

○孫 略¹、坪井 康次¹、盛武 敬²

¹筑波大 医学医療系、²産業医科大 産業生態科学研究所 放射線健康医学

08-2 放射線による造血系細胞のクローン増殖能喪失とミトコンドリア損傷頻度の短期的解析

○石川 純也、木部 汐梨、福島 妙恵華

杏林大 保 放射線

08-3 水晶体上皮細胞のコロニー形成モデル

○及川 青亮¹、松谷 悠祐³、浜田 信行²、伊達 広行¹

¹北海道大、²電力中央研究所、³日本原子力研究開発機構

08-4 Acute effects of low doses of radiation on cognition

○Mahesh Bekal¹, Lue Sun², Norie Kanzaki³, Susumu Ueno⁴, Ryuji Okazaki¹,
Takashi Moritake¹

¹Department of Radiological Health Science, UOEH, ²Department of Radiation Biology,

Faculty of Medicine, University of Tsukuba, ³Ningyo-toge Environmental Engineering

centre, Japan Atomic Energy Agency, ⁴Department of Occupational Toxicology, UOEH

08-5 高発光型ネクローシス可視化システムへの改良

○鍵谷 豪¹、佐藤 彩花¹、加藤 真奈²、小川 良平²、田中 良和³、
畑下 昌範³

¹北里大、²富山大院 医薬、³若狭エネ 生物資源

09 疫学・被曝影響(2) 11月9日(金) 11:50～12:50 D会場(練習室2)

座長: 福本 学(東京医科大 分子病理)、小笹 晃太郎(放影研 疫学)

09-1 福島第一原発事故における19歳以下の行動パターンによる放射性物質の複数回の吸入によるばく露の可能性

○大葉 隆¹、長谷川 有史²、石川 徹夫³、鈴木 元⁴

¹福島県立医大 医 放射線健康管理、²福島県立医大 医 放射線災害医療、

³福島県立医大 医 放射線物理化学、⁴国福大 クリニック

09-2 放射線汚染地域に生息するアライグマにおける細胞遺伝学的解析

○藤嶋 洋平¹、有吉 健太郎²、中田 章史³、GOH Valerie¹、葛西 宏介¹、

小荒井 一真⁴、鈴木 正敏⁵、山城 秀昭⁶、木野 康志⁴、岡 壽崇⁴、

篠田 壽⁷、吉田 光明¹、三浦 富智¹

¹弘前大 保、²弘前大 被ばく総研、³北海道科学大 薬、⁴東北大 理、

⁵東北大 災害復興、⁶新潟大 自然科学、⁷東北大 歯

09-3 被災アライグマにおける卵巣の卵胞発育能の評価

○小松 一樹¹、大平 拓也¹、目黒 栞奈¹、山城 秀昭¹、藤嶋 洋平²、

ヴァレリー ティング²、葛西 宏介²、中田 章史³、有吉 健太郎⁴、

吉田 光明⁴、福本 学⁵、三浦 富智²

¹新潟大院 自然研、²弘前大院 保、³北科大 薬、⁴弘前大 被ばく医療研、

⁵東京医大 医

09-4 福島県富岡町における避難指示解除後の環境放射能について(外部被ばく評価)

○松尾 政彦¹、平良 文亨¹、折田 真紀子¹、井出 寿一²、若松 津美³、

高村 昇¹

¹長崎大 原研 国際保健医療福祉、²原子力安全研究協会、³福島県富岡町役場

09-5 福島第一原発事故被災サル歯・骨へのSr-90の取り込み履歴と骨髓線量の推定

○小荒井 一真¹、木野 康志¹、西山 純平¹、金子 拓²、小野 拓実²、

岡 壽崇^{1,3}、高橋 温⁴、鈴木 敏彦^{5,6}、清水 良央⁵、千葉 美麗⁵、

小坂 健^{5,6}、佐々木 啓一⁵、漆原 佑介⁷、鈴木 正敏⁸、関根 勉^{1,2}、

篠田 壽⁵、福本 学⁹

¹東北大院 理、²東北大 理、³東北大 高教機構、⁴東北大 病院、⁵東北大院 歯、

⁶東北大 災害研、⁷東北大院 医、⁸東北大 災害機構、⁹東京医科大

ポスター発表

P1 損傷・修復 11月8日(木) 16:20~17:50 ポスター会場(3階)

P1-01 放射線によって生じるクラスターダメージの原子力間顕微鏡による解析

○中野 敏彰^{1,2}、Xu Xu²、金本 僚太²、平山 亮一³、鶴澤 玲子³、
井出 博²

¹量研・関西光、²広島大院 理、³量研・放医研 放射線障害

P1-02 ヒト人工多能性幹細胞における放射線照射後の DNA 損傷応答とアポトーシスの解析

○土屋 尚代¹、塚田 海馬¹、香川 望¹、島田 幹男^{1,2}、松本 義久^{1,2}

¹東工大 環境・社会理工学院 融合理工学系 原子核工学、

²東工大 科学技術創成 先端原子力研究所

P1-03 iPSC 細胞における放射線照射による遺伝子発現制御と細胞死への影響

○島田 幹男^{1,2}、塚田 海馬²、香川 望²、松本 義久^{1,2}

¹東工大 科学技術創成研究院 先端原研、²東工大 環境社会理院 融合理工 原子核工学

P1-04 ホモ FRET を利用したクラスター DNA 損傷形態の線質依存性

○赤松 憲、鹿園 直哉

量研・関西

P1-05 Rad52 promotes XPG-mediated R-loop processing to initiate transcription-coupled homologous recombination repair

○Reona KATO¹, Takaaki YASUHARA¹, Atushi SHIBATA², Kiyoshi MIYAGAWA¹

¹Laboratory of Molecular Radiology, Center for Disease Biology and Integrative medicine, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo.,

²Education and Research Support Center ERSC, Graduate School of Medicine, Gunma University

P1-06 1M ジメチルスルホキシド存在下で重粒子放射線によって生じる DNA 損傷と変異

○徳山 由佳¹、森 加奈恵¹、平山 亮一²、古澤 佳也²、寺東 宏明^{1,3}

¹佐賀大 総合分析実験センター、²量研・放医研 放射線障害治療研究部、

³岡山大 自然生命科学研究支援センター

P1-07 作用スペクトル解析によるマウス皮膚における紫外線 DNA 損傷量と誘発突然変異頻度の定量関係の解明

○池畑 広伸¹、森 俊雄²、山本 雅之¹

¹東北大院 医 医化学、²奈良県立医大 放射線腫瘍学

P1-08 相同組換え修復効率の細胞周期に依存した変化

○坂本 裕貴¹、穀田 哲也¹、勅使河原 愛¹、飯島 健太¹、高田 穰²、
小松 賢志²、田内 広¹

¹茨城大院 理 量子線科学、²京都大 生命科学 放生研

- P1-09** マウス神経細胞における放射線誘発 DNA 損傷応答の解析
 ○中野 彰人、白石 一乗、児玉 靖司
 大阪府大院 理 生物科学 放射線生物
- P1-10** マウス神経系細胞の発生段階における DNA 依存的プロテインキナーゼ触媒サブユニット発現と DNA 依存的プロテインキナーゼ活性の解析
 ○金星 咲良、白石 一乗、児玉 靖司
 大阪府大院 理 生物科学 放射線生物
- P1-11** 老化に伴う DNA 損傷修復能力低下による原因解明と生体影響解析
 ○大泉 昂之、中村 麻子
 茨城大 理
- P1-12** Molecular mechanisms of cancer-specific DNA repair pathway choice after ionizing radiation or chemotherapy
 ○Masaoki KOHZAKI¹, Akira OOTSUYAMA², Lue SUN³, Takashi MORITAKE¹, Ryuji OKAZAKI¹
¹Dep. Radiol. Health Sci., Inst. Indust. Ecol. Sci., Univ. Occup. Environ. Health, Japan,
²Dep. Radiat. Biol. Health. Sch. Med., Univ. Occup. Environ. Health, Japan,
³Facul. Med., Univ. Tsukuba
- P1-13** X線照射したEGFPプラスミドの非照射細胞への導入とDNA修復難易度の研究
 ○小畑 結衣^{1,2}、平嶋 敬志朗³、横谷 明德^{1,2}
¹茨城大院 理工、²量研 量子ビーム 放射場生体分子科学、³茨城大 理
- P1-14** 日本人AT-LD患者におけるMRE11変異部位とDNA損傷応答異常との関係
 ○河村 香寿美¹、Qi Fei¹、加藤 竹雄²、松浦 伸也³、小松 賢志⁴、小林 純也^{1,4}
¹京都大院 人間・環境 分子・生命環境論、²京都大院 医、³広島大 原医研、⁴京都大院 生命科学
- P1-15** 半数性モデル植物ヒメツリガネゴケの放射線抵抗性には末端結合修復ではなく相同組換え修復が寄与する
 ○横田 裕一郎¹、ノゲー ファビアン²、坂本 綾子¹
¹量研・高崎研 放射線生物応用、²フランス国立農学研究所
- P1-16** Effects of Deficiency and Overexpression of Oxidoreductase Glutaredoxin-1 (Grx1) on Oxidative Stress Response in Human Cells
 ○TINGYI ZHAO, Qiu-Mei Zhang-Akiyama
 Laboratory of Stress Response Biology, Division of Biological Science, Graduate School of Science, Kyoto University
- P1-17** Cooperative function of HAT and HDAC facilitate nucleotide excision repair
 ○Hiroyuki NIIDA, Kohji NISHIMOTO, Masatoshi KITAGAWA
 Mol. Biol. Hamamatsu Univ. Sch. of Med.

- P1-18** 演題取り下げ
- P1-19** メダカ *BAP1* 遺伝子変異体の作製
○藤原 智子¹、藤川 芳宏²、藤堂 剛²
¹大阪大院 医 遺伝子治療、²大阪大 放科基
- P1-20** 細胞周期依存的な DNA 修復機構を利用したがん特異的な放射線増感法の開発
○砂田 成章¹、斉藤 広子²、三木 義男¹
¹東京医歯大 難治研 分子遺伝、²がん研
- P1-21** XPA 遺伝子に日本人特有の創始者変異を有するヘテロ接合体は皮膚基底細胞がんのリスクが高い
平井 裕子、○野田 朝男、中村 典
放影研 分子生物科学部
- P1-22** ゲノム編集技術を用いた NBS1 I171V ノックインマウスの作製
○宮本 達雄¹、阿久津 シルビア夏子¹、田内 広²、松浦 伸也¹
¹広島大 原医研 放射線ゲノム疾患、²茨城大 理 生物科学
- P1-23** 放射光 X 線マイクロビーム細胞照射装置のハイスループット化
○宇佐美 徳子、大原 麻希、小林 克己
高エネ機構 物構研
- P1-24** X 線マイクロビーム局所照射によるヒト血管内皮細胞の運動促進効果
○前澤 博¹、宇佐美 徳子¹、小林 克己¹、宇都 義浩²
¹物質構造科学研究所 KEK、²徳島大院 社会産業理工学研究部
- P1-25** 弾性線維および膠原線維の紫外線照射に伴う影響
○白戸 佑貴、北山 義尚、嵯峨 涼、吉野 浩教、細川 洋一郎、
敦賀 英知
弘前大院 保 放射線技術科学
- P1-26** 原爆被爆者の血液細胞内活性酸素と血清中铁に及ぼす年齢と放射線被ばくの影響
○林 奉権¹、古川 恭治²、吉田 健吾¹、楠 洋一郎¹、京泉 誠之¹、
大石 和佳³
¹放影研 分子生物科学部、²久留米大 バイオ統計センター、³放影研 臨床研究部
- P1-27** 円二色性分光によるメチル化ヒストン H3 の構造解析
○泉 雄大、松尾 光一
広島大 放射光センター

P2-01 抗ガン治療薬シタラビン (Ara-C) の作用機序の解明○津田 雅貴¹、井出 博¹、武田 俊一²、廣田 耕志³¹広島大 理 数理分子生命理学専攻 遺伝子化学、²京都大院 医 放射線遺伝学、³首都大院 理工 分子物質化学**P2-02 X線が肺胞の弾性線維に与える影響について**○北山 義尚、白戸 佑貴、嵯峨 涼、吉野 浩教、細川 洋一郎、
敦賀 英知

弘前大院 保健 放射線技術科学

P2-03 X線全身被ばくマウスに対する脂肪組織由来幹細胞 (ADSC) 移植の放射線障害軽減効果

○大津山 彰

産業医科大 医 放射線衛生学

P2-04 H2AX の DNA 損傷修復機能解明を目的としたゲノム部位特異的損傷誘発実験システムの開発

○ZOU RENQING

茨城大 理 中村麻子研究室

P2-05 放射線適応応答誘導へのホスホリパーゼ C とシグナル伝達系の関与濱野 彩香¹、嶋崎 楓由美¹、郡司 未佳¹、○立花 章²¹茨城大 理、²茨城大院 理工 量子線科学**P2-06 高活性型 FGF1-FGF 受容体 1 シグナルは血管肉腫細胞の増殖・転移能を抑制する**○三浦 太一¹、川野 光子¹、藤田 真由美¹、安田 武嗣¹、西原 祥子²、
増澤 幹男³、中山 文明¹¹量研・放医研、²創価大院 工 生命情報、³北里大 医療衛生 臨床検査**P2-07 線虫 *C. elegans* を用いた非分裂細胞における酸化ストレス応答の解析**○森脇 隆仁¹、山崎 晃²、石川 悟²、秋山 秋梅²¹長崎大 原研 幹細胞生物、²京都大院 理**P2-08 Radiation-induced bystander effect in large Japanese field mouse (*Apodemus speciosus*) embryonic cells**○Kentarō ARIYOSHI¹, Tomisato MIURA^{1,3}, Kosuke KASAI³,
Akifumi NAKATA², Yohei FUJISHIMA³, GOH Valerie Swee Ting³,
Mitsuaki YOSHIDA¹¹Inst. Radiat. Emerg. Med. Hirosaki Univ.,²Basic Pham. Hokkaido Pharm. Univ. Sch. Pharm., ³Sch. Health Sci. Hirosaki Univ.**P2-09 放射線によって誘導されるオートファジーと細胞周期チェックポイントとの相互制御機構の解明**○鈴木 基史^{1,2}、松本 謙一郎¹、中西 郁夫¹、長谷川 純崇²¹量研・放医研 放射線障害治療研究部、²臨床研究クラスター 重粒子線治療研究部

- P2-10** 血清除去誘導細胞死の一過性 X 線照射による抑制
 ○加藤 真介¹、小林 純也²、梅田 知伸¹、小林 芳子¹、鈴木 崇彦³
¹横浜薬大 放射線科学、²京都市大 生命科学 放生研、³帝京大 診療放射線
- P2-11** Centrinon-B による中心体複製阻害が放射線誘発分裂期崩壊に与える影響
 ○藤本 政毅、山盛 徹、房 知輝、山本 久美子、稲波 修
 北海道大院 獣医 放射線
- P2-12** X 線照射によるマウス脳の酸化ストレス状態の変化特性に関する検討
 ○片岡 隆浩¹、神崎 訓枝^{1,2}、柚木 勇人¹、小橋 佑介¹、石田 毅¹、
 花元 克巳¹、山岡 聖典¹
¹岡山大院 保健、²原子力機構 人形峠
- P2-13** ラドンの皮脂成分での溶解特性
 ○石田 毅¹、迫田 晃弘²、片岡 隆浩¹、神崎 訓枝²、田中 裕史²、
 小橋 佑介¹、柚木 勇人¹、石森 有³、光延 文裕⁴、山岡 聖典¹
¹岡山大院 保、²日本原子力研究開発機構 人形環境技術センター、
³日本原子力研究開発機構 もんじゅ、⁴岡山大院 医歯薬
- P2-14** 低線量率照射による DNA 損傷と酸化ストレス応答因子
 ○孟 慶梅、QI FEI、河村 香寿美、小林 純也
 京都大院 人間・環境 相関環境学
- P2-15** 放射線適応応答誘導における上皮増殖因子受容体 (EGFR) 動態変化の検討
 ○高橋 知花、松本 健吾、立花 章
 茨城大院 理工 量子線科学
- P2-16** 低線量・低線量率放射線被曝と脳卒中リスクとの関係
 ○高橋 規郎¹、村上 秀子²、大石 和佳³、三角 宗近⁴、長町 安希子⁵、
 稲葉 俊哉⁵、田中 聡⁶、田中 イグナシヤ⁶、津山 尚宏⁷、中村 麻子⁸、
 水野 初⁹
¹放影研、²放影研 分子生物科学、³放影研・臨床研究、⁴放影研 統計、
⁵広島大 原医研 がん分子病態、⁶環境研 生物影響、⁷福島医大 医、⁸茨城大 理、
⁹静岡県大 薬
- P2-17** ¹³⁷Cs 多世代経口摂取による内部被曝線量評価と子孫マウスにおける全塩基配列解析のマウス系統比較
 ○中島 裕夫¹、藤堂 剛¹、鈴木 正敏²、遠藤 曉³、遠藤 大二⁴
¹大阪大 放射線科学基盤機構、²東北大 災害復興新生研究機構、³広島大院 工、
⁴酪農学園大 獣医
- P2-18** ヒト血液細胞 lncRNA をバイオドジメトリー指標とした低線量率連続外部および内部被ばくの測定
 ○田中 泉、石原 弘、薬丸 晴子、田中 美香、横地 和子
 量研・放医研 放射線障害治療 体内除染
- P2-19** ヒト由来細胞における低線量放射線による小核形成への線量率効果
 ○宮越 順二、小山 眞、成田 英二郎、清水 陽子、篠原 真毅
 京都大 生存圏研究所

P2-20 Ca²⁺ 濃度変化をパラメータとする放射線適応応答反応ネットワークのモデル化の試み

○杉本 理峻^{1,2}、浜田 涼^{1,2}、服部 佑哉³、渡辺 立子²、立花 章¹、
横谷 明徳^{1,2}

¹茨城大院 理、²量研、³東京工業大院 工 システム制御系

P2-21 神経前駆細胞分化の転写ネットワークに低線量放射線が与える変化と影響

○桂 真理¹、戸澤 英人¹、南齋 ひろ子²、小野 久子^{1,3}、小林 美佳¹、
田口 明糸¹、石川 夕記子¹、興梠 貴英^{1,4}、曾根 秀子^{2,5}、
和田 洋一郎^{1,6}

¹東京大 アイソトープ、²国立環境研究所、³東京大院 医 眼科、
⁴自治医大 メディカルインフォ、⁵横浜薬大 漢方、⁶東京大 先端研 システム生物医

P2-22 正常ヒト線維芽細胞における放射線照射後の老化誘導に伴うオートファジー活性の変動

○野口 実穂¹、伊原 智一^{1,2}、横谷 明徳^{1,2}

¹量研・高崎量子 東海、²茨城大 理

P2-23 放射線抵抗性癌幹細胞を考慮した線量応答とモデル解析

○高橋 玲¹、嵯峨 涼¹、松谷 悠佑²、長谷川 和輝¹、伊達 広行²、
細川 洋一郎¹

¹弘前大院 保 放射線技術科学、²北海道大院 保健科学研究院

P2-24 尿中代謝産物を利用したバイオドシメトリーの検討

○門前 暁¹、寺田 賢司¹、森野 友貴¹、佐藤 孝徳¹、千葉 満²

¹弘前大院 保 放射線技術、²弘前大院 保 生体検査

P2-25 ゼブラフィッシュを用いた初期胚の放射線に対する影響の解析

○本庶 仁子、一戸 辰夫

広島大 原医研 血液・腫瘍内科

P3 放射線影響

11月8日(木) 16:20～17:50 ポスター会場 (3階)

P3-01 マウスの生殖系列で発生する挿入欠失変異の発生頻度とその特徴

○内村 有邦^{1,2}、樋口 真弓²、水口 洋平³、佐藤 康成¹、辻 隆弘¹、
中本 芳子¹、今中 正明¹、三浦 昭子¹、豊田 敦³、八木 健²

¹放影研 分子生物科学、²大阪大院 生命機能、³国立遺伝学研究所

P3-02 ガンマ線照射オス親マウス由来仔マウスに生じた変異のマイクロアレイ CGH 法および定量 PCR 法によるゲノムワイドな検出

○小倉 啓司、田中 聡、小村 潤一郎

環境研 生物影響

P3-03 ミスマッチ修復欠損マウスにおける体細胞および生殖細胞自然突然変異の解析

○大野 みずき¹、鷹野 典子¹、中津 可道¹、續 輝久²

¹九州大 医 基礎放射線医学、²福歯大 先端科学研究センター

- P3-04** 高 LET 粒子線照射による出芽酵母の突然変異誘発に関する研究
 ○松尾 陽一郎¹、泉 佳伸^{1,2}、下川 卓志³、清水 喜久雄⁴
¹福井大 学術研究院工学系、²福井大 附属国際原子力工学研究所、³量研・放医研、
⁴大阪大 放射線科学基盤機構附属 RI 総合センター
- P3-05** The effects of chronic inflammation on chromosomal aberrations and radio-sensitive organs after X-ray radiation in T2DM model
 ○Valerie Swee Ting Goh¹, Ayaka Azumaya², Kentaro Ariyoshi³,
 Yohei Fujishima¹, Mitsuaki Yoshida³, Akifumi Nakata⁴, Tomisato Miura¹
¹Grad. Sch. of Health Sci. Hirosaki Univ., ²Sch. of Health Sci. Hirosaki Univ.,
³Institute of Radiat. Emerg. Med. Hirosaki Univ., ⁴Sch. of Pharmacy Hokkaido Pharma. Univ.
- P3-06** X線や炭素線照射後の生体応答に対する低酸素環境の役割に関する研究
 ○劉 翠華、平川 博一、平山 亮一、藤森 亮
 量研・放医研 放射線障害
- P3-07** CRISPR/Cas9 を用いた t (11;14) 染色体転座誘発
 ○津山 尚宏¹、阿部 悠¹、柳 亜季¹、菅井 美咲¹、神谷 研二²、
 坂井 晃¹
¹福島医大 放射線生命科学、²広島大 原医研 分子発がん制御
- P3-08** 細胞遺伝学的線量評価におけるメタボリックシンドロームの影響
 ○中田 章史¹、三浦 富智^{2,3}、柴田 正慶⁴、堀田 大介⁴、津久井 宏行⁴、
 柳館 快利²、三上 紗季²、伊藤 杏²、Goh Valerie Swee Ting²、
 藤嶋 洋平²、葛西 宏介²、有吉 健太郎³、吉田 光明³
¹北海道科学大 薬、²弘前大院 保健学、³弘前大 被ばく研、⁴北海道循環器病院
- P3-09** Experimental strategies for the chromosome therapy in Down syndrome cell
 ○Silvia Natsuko Akutsu¹, Tatsuo Miyamoto¹, Hirofumi Ohashi²,
 Shinya Matsuura¹
¹Res. Inst. for Radiat. Biol. and Med. Hiroshima Univ., ²Genet. Saitama Child. Med. Cen.
- P3-10** 新しい低価格分裂中期細胞検出装置プロジェクト (第4報)
 ○古川 章
 量研・放医研 研究企画室
- P3-11** 被ばく染色体と DNA2 本鎖切断の転座を検出する実験系確立の試み
 ○西田 一貴、戸田 邦彦、白石 一乗、児玉 靖司
 大阪府立大院 理 生物科学 放射線生物
- P3-12** X線誘発テロメア姉妹染色分体交換 (T-SCE) と姉妹染色分体交換 (SCE) の比較
 ○遠山 由貴、白石 一乗、児玉 靖司
 大阪府立大院 理 生物科学 放射線生物
- P3-13** 線質の異なる放射線誘発マウス肺がんの病理組織学的評価
 ○鈴木 健之、山崎 隼輔、岩田 健一、山田 裕、森岡 孝満、
 臺野 和広、甘崎 佳子、小川 真理、島田 義也、柿沼 志津子
 量研・放医研 放射線影響

- P3-14** **ガンマ線照射後のマウス甲状腺病変の被ばく時年齢依存性について**
 ○金 小海、柿沼 志津子、山田 裕、森岡 孝満、臺野 和広、
 島田 義也
 量研・放医研 放射線影響
- P3-15** **Min マウスにおけるトリチウム誘発消化管腫瘍の解析**
 ○馬田 敏幸¹、大津山 彰²、笹谷 めぐみ³
¹産業医科大 教育研究支援施設 RI 研究セ、²産業医科大 医学部 放射線衛生学、
³広島大 原医研 ゲノム障害医学研究センター 分子発がん制御
- P3-16** **鉄イオン線照射後のマウスに発生するリンパ系腫瘍の解析**
 ○小久保 結末^{1,2}、森岡 孝満²、臺野 和広²、金 小海²、石川 敦子²、
 橘 拓孝^{2,3}、小川 真里²、藤田 美鈴²、柿沼 志津子²、田代 聡⁴
¹広島大 医 医、²量研・放医研 放射線影響研究部、³千葉大院 融合理工学 生物、
⁴広島大 原医研 細胞修復制御
- P3-17** **上皮間葉転換機構における H2AX の機能解析**
 ○鷲尾 輝美、中村 麻子
 茨城大 理
- P3-18** **The *DIRC3* SNP does not associate with the risk for radiation-related thyroid cancer in children in contrast to other age or exposure-status groups from Belarus**
 ○Tatiana Rogounovitch¹, Vladimir Saenko¹, Tatsiana Leonava²,
 Valentina Drozd³, Meiko Takahashi⁴, Takahisa Kawaguchi⁴,
 Norisato Mitsutake¹, Fumihiko Matsuda⁴, Shunichi Yamashita⁵
¹Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University,
²Minsk City Clinical Oncological Dispensary, Minsk, Belarus,
³Belarusian Medical Academy for Post Graduate Education, Minsk, Belarus,
⁴Graduate School of Medicine, Kyoto University, ⁵Fukushima Medical University
- P3-19** **外部環境変化が放射線照射後の DNA 損傷修復および炎症反応へ与える影響の解析**
 ○来栖 圭介¹、西村 まゆみ²、森岡 孝満²、柿沼 志津子²、島田 義也²、
 中村 麻子¹
¹茨城大 理、²量研・放医研
- P3-20** **マウスの培養造血幹細胞へ及ぼす中・高線量率放射線照射の影響**
 ○斎藤 幹男、廣内 篤久
 環境研 生物影響
- P3-21** **生体成分配位子によるウランのマウス体内動態の相違**
 ○石原 弘¹、田中 泉¹、上原 章寛¹、武田 志乃¹、薬丸 晴子¹、
 田中 美香¹、横地 和子¹、明石 真言²
¹量研・放医研 放射線障害治療 体内除染、²量研
- P3-22** **DNA 損傷応答は内皮型一酸化窒素合成酵素の活性化を介して血管内皮細胞を老化させる**
 ○永根 大幹^{1,2}、安井 博宣³、山盛 徹³、稲波 修³、山下 匡¹、
 クプサミー ペリアナン²
¹麻布大 獣医 生化学、²ダートマス大学 医、³北海道大院 獣医 応用獣医 放射線学

P3-23 悪性黒色腫における X 線による免疫チェックポイントタンパク質の発現変化

○大原 麻希¹、宇佐美 徳子¹、小林 菜穂子^{2,3}、吉田 徹彦^{2,3}
¹高エネ研・物構研、²慶応義塾大 医 遺伝子医学、³東亜合成 先端科学研

P3-24 低線量率放射線がマウスの骨髄内環境に及ぼす影響

○廣内 篤久、斎藤 幹男
環境研 生物影響

P3-25 マウス胎齢 14 日 X 線被ばく出生仔に見られる行動異常とセロトニンとの関係

○巽 純子^{1,2}、片山 瑠香²、萩野 大²、森田 光範¹、室田 佳恵子³、藤川 和男³
¹近畿大 理工 生命科、²近畿大院 総合理工 理学、³島根大 生物資源科学部 生命科学科

P3-26 低線量（率）放射線被ばくによるメダカ精巣卵の誘導

○永田 健斗^{1,2}、保田 隆子¹、中澤 拓哉¹、鈴木 芳代²、尾田 正二¹、舟山 知夫²、小林 純也³、三谷 啓志¹
¹東京大院 新領域 先端生命、²量研・高崎 放射線生物応用 マイクロビーム生物、³京都大院 生命科学 ゲノム生物学

P3-27 胎内被ばくマウスの出生後の行動変化における線量効果関係の解析

藤川 和男¹、○巽 純子^{1,2,3}、木佐一 達哉²、達富 渉²、谷川 慎伍²、松田 外志朗³、堀口 哲男³、川崎 祐也⁴、河井 一明⁴
¹近畿大院 総合理工 理学、²近畿大 理工 生命、³近畿大 原研、⁴産業医大 産業生態科学

P3-28 ウラン投与ラット腎臓におけるウラン化学形変化

○武田 志乃¹、吉田 峻規²、上原 章寛¹、沼子 千弥³、佐藤 修彰⁴、関澤 央輝⁵、新田 清文⁵、小久保 年章¹、石原 弘¹
¹量研・放医研、²千葉大院 融合理工、³千葉大院 理、⁴東北大 多元物質研究所、⁵高輝度光科学研究センター

P3-29 筋肉の内分泌機能に対する放射線の影響

○櫻井 智徳¹、福山 誠介²
¹岐阜医療科学大 放射線、²木沢記念病院

P3-30 膵β細胞傷害は miR-375-3p の細胞外への放出を増加させる

○千葉 満¹、門前 暁²
¹弘前大院 保 生体検査、²弘前大院 保 放射線技術

P3-31 放射線被曝による循環器疾患リスク増加における組織応答解析

○小泉 久美子¹、高橋 規郎²、中村 麻子¹
¹茨城大 理、²放影研

P3-32 幼若ラットにおけるウラン体内動態

○吉田 峻規¹、武田 志乃²、上原 章寛²、沼子 千弥³、石原 弘²
¹千葉大学院 融合理工、²量研・放医研、³千葉大院 理

P3-33 神経分化誘導の最適化の検討とその評価

○白石 一乗¹、坂口 健太¹、柏木 裕呂樹²、児玉 靖司¹
¹大阪府大院 理 生物科学・放射線生物、²労働安全衛生総合研究所

P3-34 カエルおよびウニの胚発生に対する X 線の影響

○井出 博¹、田村 孝平¹、坂本 尚昭¹、山本 卓¹、鈴木 賢一¹、
高橋 秀治²、小栗 恵美子³、出口 博則³
¹広島大院 理 数理分子生命理学、²広島大院 理 両生類研究施設、
³広島大院 理 生物科学

P3-35 ヒト線維芽細胞における X 線照射によるミトコンドリアへの影響

○浜田 涼^{1,2}、杉本 理峻^{1,2}、木村 由佳^{1,2}、神長 輝一²、鈴木 啓司³、
横谷 明德^{1,2}
¹茨城大院 理工、²量研 量子ビーム 放射場生体分子科学、
³長崎大 原研 放射線災害医療

**P3-36 曖昧な低線量放射線影響の評価 に向けた機械学習によるビジュアルイ
ズ手法の提案**

○神崎 訓枝¹、迫田 晃弘¹、片岡 隆浩²、山岡 聖典²
¹原子力機構 人形峠、²岡山大院 保

P4 治療生物学

11月8日(木) 16:20 ~ 17:50 ポスター会場 (3階)

P4-01 Impacts of the cancer stem cells on the surviving fraction under multi-fractionated irradiations

○Shingo NAIJO¹, Yusuke MATSUYA¹, Hiroyuki DATE²
¹Graduate School of Health Sciences, Hokkaido University,
²Faculty of Health Sciences, Hokkaido University

P4-02 炭素線照射と抗癌剤併用による悪性中皮腫細胞及び移植腫瘍に対する殺傷効果

○崔 星¹、鈴木 雅雄^{1,2}、平川 博一¹、山田 泰寿²、新田 祐樹³、
藤森 亮¹
¹量研・放医研 放射線障害治療、²量研・放医研 病院、³千葉大院 医薬

P4-03 グルコピラノシルアスコルビン酸の照射後処理による放射線感受性の変化～正常細胞とがん細胞の比較

○小橋川 新子^{1,2}、菓子野 元郎²、真田 悠生¹、田野 恵三¹、
増永 慎一郎¹
¹京都大 複合原子力 粒子線生物、²奈良医大 RI

P4-04 新規低酸素誘導性転写因子 GLIS1 のがん細胞における意義

谷本 圭司、○島本 和美、島袋 紀一、小田 千代、廣橋 伸之
広島大 原医研 放射線医療開発

- P4-05** 電子スピン共鳴酸素イメージングによる脳室内移植グリオーマの放射線感受性評価
 ○安井 博宣^{1,2}、河合 辰哉²、松元 慎吾^{2,3}、齋藤 圭太²、
 Camphausen Kevin²、稲波 修¹、Krishna Murali²
¹北海道大院 獣医 放射線、²アメリカ国立がん研究所、
³北海道大院 情報科学 磁気共鳴工学
- P4-06** ラット脳腫瘍細胞の長寿命ラジカル生成におけるグルタミン欠損の効果
 ○福島 秀哉¹、菓子野 元郎²、熊谷 純³
¹名古屋大院 工 応物化 熊谷研究グループ、²奈良医大 RI、
³名古屋大 未来研 材料創製
- P4-07** X線光電子分光法による Br を含む DNA 関連分子の内殻電子状態の研究
 ○平戸 未彩紀¹、横谷 明德^{1,2}、馬場 祐治³、藤井 健太郎²
¹茨城大 理、²量研、³日本原子力研究開発機構
- P4-08** イベルメクチンは放射線誘発性脳内慢性炎症を抑制する
 ○梶原 堯之¹、近藤 夏子²、櫻井 良憲²、高田 卓志²、鈴木 実²、
 久米 恭³、三谷 啓志¹、尾田 正二¹、保田 隆子¹
¹東京大院 新領域 先端生命、²京都大 複合原子力 放射線生命医科学、
³若狭湾エネルギー 粒子線医療
- P4-09** 重粒子線照射後の低酸素マーカーを用いた腫瘍再酸素化の可視化
 ○鶴澤 玲子¹、平山 亮一¹、大原 麻希²、鈴木 基史¹、長谷川 純崇¹
¹量研・放医研、²高エネ研・物構研
- P4-10** 生物学的効果比や酸素増感比を指標とした粒子種依存性
 ○平山 亮一¹、大原 麻希²、鶴澤 玲子¹、鈴木 基史¹、平野 祥之³、
 松藤 成弘¹、古澤 佳也¹、長谷川 純崇¹
¹量研・放医研、²高エネ研 物構研、³名古屋大院 医
- P4-11** 絶対生物効果線量の提案 -¹⁰B(n, α)⁷Li の効果は核細胞質比または細胞サイズで予測できる
 ○小野 公二¹、田中 浩基²、玉利 勇樹²、渡邊 翼²、鈴木 実²、
 木梨 友子²、増永 慎一郎²
¹大阪医科大 関西 BNCT 共同医療センター、²京都大 複合原子力科学研究所
- P4-12** エックス線感受性の異なるマウスにおける中性子感受性の差
 ○木梨 友子¹、小野 公二²
¹京都大 複合原子力科学研、²大阪医科大 関西 BNCT 共同医療センター
- P4-13** p53 制御剤による重粒子放射線防護効果
 ○森田 明典¹、王 冰²、田中 薫²、勝部 孝則²、村上 正弘²、
 西山 祐一¹、越智 進太郎¹、寺岡 達朗³、ドウウィー ラマダニー²、
 下川 卓史²、根井 充²、青木 伸³
¹徳島大院 医歯薬 医用理工学、²量研・放医研、³東理大 薬 生命創薬

P4-14 High LET particle irradiation effectively induces nucleolar fragmentation in cancer cells

○Sangeeta KAKOTI¹, Yoshihiko Hagiwara¹, Hiro Sato¹, Takahiro Oike¹, Takashi Nakano¹, Atsushi Shibata²

¹Radiat. Oncol., Gunma Univ., ²ERSC, Grad. Sch. Med., Gunma Univ.

P4-15 粒子線のRBEは線量平均LETでは一義に決まらない

○古澤 佳也¹、大澤 大輔^{1,2}、小川原 亮³、小西 輝昭¹

¹量研・放医研 放射線障害治療、²千葉大 医薬、³量研・放医研 加速器工学

P4-16 Lin28 強発現メラノーマ細胞におけるがん幹細胞様形質および炭素線感受性の検討

○高橋 昭久¹、Park Seong-Joon^{1,2}、吉田 由香里¹

¹群馬大 重粒子線医学研究センター、²韓国東南圏原子力医学院

P4-17 不整脈の量子ビームを用いた根治的治療にむけた基礎研究

○下川 卓志¹、金井 昭教³、黒澤 ふき^{1,2}、網野 真理⁴、吉岡 公一郎⁴、古澤 佳也¹

¹量研・放医研、²東邦大 理、³広島大 原医研、⁴東海大 医 循環器内科

P4-18 Effects of small size gold nanoparticles on radiation- and ultrasound-induced apoptosis in human lymphoma U937 cells

Paras JAWAID¹, Mati Ur REHMAN¹, Quing-Li ZHAO¹, Ryohei OGAWA¹, Masaki MISAWA², ○Takashi KONDO¹, Junichi SAITOH¹, Kyo NOGUCHI¹

¹Dept of Radiol, Grad Sch of Med and Pharmaceut Sci, Univ of Toyama,

²Theranostic Devices Res Group, Health Res Institute, AIST

P4-19 ヒト頭頸部扁平上皮癌細胞に対する Importin-β 1 阻害剤の放射線増感効果

○吉野 浩教¹、中川 雄太²、新田 圭介²、柏倉 幾郎¹

¹弘前大院 保、²弘前大 医学部保健

P4-20 細胞内移行型 FGF1 による重粒子線腸管障害防護機構について

○川野 光子、三浦 太一、石川 敦子、小池 幸子、今留 香織、

藤田 真由美、今井 高志、中山 文明

量研・放医研

P4-21 p53 調節剤 5CHQ の類縁体探索から見出された 5QX の放射線防護活性評価

○西山 祐一¹、國井 大誓²、笹谷 めぐみ³、寺岡 達郎⁴、坂井 卓磨²、越智 進太郎¹、神谷 研二³、王 冰⁵、青木 伸⁴、森田 明典¹

¹徳島大院 医歯薬 医用理工学、²徳島大 医 保健、³広島大 原医研、

⁴東理大 薬 生命創薬科学、⁵量研・放医研 放射線影響研究部

P4-22 メラトニンのラジカル消去機構と放射線によるマウスの脂質過酸化に対する防護効果

○中西 郁夫¹、MANDA Kailash²、大久保 敬^{1,3}、上野 恵美¹、上林 将人^{1,4}、小澤 俊彦⁵、安西 和紀^{1,5}、松本 謙一郎^{1,6}

¹量研・放医研 放射線障害治療、²インド核医研、³大阪大 高等共創研、⁴千葉大院 融合、

⁵日本薬大、⁶千葉大院 理

P4-23 化合物ライブラリーから選抜された p53 依存性細胞死抑制剤の作用機構解析

- 越智 進太郎¹、佐藤 秀哉²、氏田 将平¹、多田 佳寿美¹、
松下 洋輔^{1,3}、水野 皓介²、出口 雄一³、鈴木 啓司³、田中 義正³、
植田 弘師³、稲葉 俊哉⁴、細井 義夫⁵、青木 伸²、森田 明典¹
¹徳島大、²東理大 薬 生命創薬、³長崎大院、⁴広島大 原医研、⁵東北大院 医

P4-24 放射線防護剤 5CHQ の遺伝子発現調節作用の網羅的解析

- 坂井 卓磨¹、氏田 将平¹、榎本 敦²、川手 耀介¹、西山 祐一¹、
寺岡 達朗³、青木 伸³、王 冰⁴、金井 昭教⁵、稲葉 俊哉⁵、
森田 明典¹
¹徳島大、²東京大 院 医、³東理大 薬 生命創薬、⁴量研・放医研、⁵広島大 原医研

P4-25 電子物性に着目したハロゲン化ピリミジンの放射線増感メカニズム解明の試み

- 鬼澤 美智^{1,2}、芳賀 芳範³、田中 成典⁴、平戸 未彩紀⁵、横谷 明徳^{1,2}
¹茨城大院 理工、²量研 量子ビーム 放射場生体分子科学、
³原研機構 先端基礎研究、⁴神戸大、⁵茨城大 理

P4-26 Protective effects of amino acids cystine and theanine against radiation injury of colon

- Kazuko SHICHIJO¹, Mutsumi Matsuyama², Hisayoshi Kondo³,
Takashi Tuchiya⁴, Junya Yoneda⁵, Katsuya Matsuda¹, Shiro Miura²,
Ichiro Sekine¹, Masahiro Nakashima^{1,2}
¹Department of Tumor and Diagnostic Pathology, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University,
²Tissue and Histopathology, ³Biostatistics, ⁴Sendai City Medical Center,
⁵Institute for Innovation, Ajinomoto Co., Inc.

P4-27 Piceatannol による放射線防護効果の検討

- 手塚 諒哉¹、平山 亮一²、下川 卓志²、中村 麻子¹
¹茨城大 理、²量研・放医研

P5 疫学・被曝影響 11月8日(木) 16:20～17:50 ポスター会場 (3階)

P5-01 低線量放射線はがんを誘発しないで早期化するのではないか

- 中村 典
放影研

P5-02 Detection of Chromosome Aberrations Induced by CT Scan Examination

- Lin SHI¹, Emi KAWABATA¹, Jiyong SUN¹, Kimio TANAKA¹, Kazuo AWA^{1,2},
Chiemi SAKAI³, Mari ISHIDA³, Satoshi TASHIRO¹
¹Department of Cellular Biology, RIRBM, Hiroshima University,
²Department of Diagnostic Radiology, Hiroshima University Hospital,
³Department of Cardiovascular Physiology and Medicine, Graduate School of Biomedical & Health Sciences, Hiroshima University, Hiroshima, Japan

P5-03 フォーカスグループインタビューから見えてきた原子力災害時の診療放射線技師の役割とは

- 真船 浩一^{1,3}、菅野 修一^{2,4}、大葉 隆³、長谷川 有史⁴、大津留 晶³
¹ 公立岩瀬病院、² 田村市都路診療所、³ 福島県立医科大 医 放射線健康管理学、
⁴ 福島県立医科大 医 放射線災害医療学

P5-04 ホールボディカウンタ設置施設におけるユーザー管理状況の調査

- 菅野 修一^{1,4}、真船 浩一^{2,3}、大葉 隆³、長谷川 有史⁴、大津留 晶³
¹ 田村市立都路診療所、² 公立岩瀬病院、³ 福島県立医大 医 放射線健康管理、
⁴ 福島県立医大 医 放射線災害医療

P5-05 有限面積を持った地表（床）汚染における電子式個人線量計のレスポンスと全面マスクの遮へい効果の実験的評価

- 辻村 憲雄、星 勝也、百瀬 琢磨
原子力機構

P5-06 透明帯除去マウス卵子を用いた被災アライグマ精子の卵子侵入能の評価

- 庄司 莉那¹、目黒 葉奈¹、小松 一樹¹、大平 拓也¹、山城 秀昭¹、
藤嶋 洋平²、ヴァレリー ティング²、葛西 宏介²、中田 章史³、
有吉 健太郎⁴、吉田 光明⁴、福本 学⁵、三浦 富智²
¹ 新潟大院 自然研、² 弘前大院 保、³ 北海道科学大 薬、⁴ 弘前大 被ばく医療研、
⁵ 東京医科大 医

P5-07 Comparative analysis of clinical and morphological characteristics according to BRAF mutational status in post-Chernobyl adult PTCs from Belarus

- Vladimir Saenko¹, Tatiana Rogounovitch², Mikhail Frydman³,
Svetlana Mankovskaya⁴, Shunichi Yamashita⁵
¹Department of Radiation Molecular Epidemiology, Atomic Bomb Disease Institute,
Nagasaki University,
²Department of Global Health, Medicine and Welfare, Atomic Bomb Disease Institute,
Nagasaki University,
³Minsk City Clinical Oncological Dispensary, Minsk, Republic of Belarus,
⁴Institute of Physiology, National Academy of Sciences of Republic of Belarus,
⁵Fukushima Medical University

P5-08 ニホンザルの歯の電子スピン共鳴測定による外部被ばく線量推定

- 岡 壽崇^{1,2}、高橋 温³、小荒井 一真²、木野 康志²、関根 勉⁴、
清水 良央⁴、千葉 美麗⁴、鈴木 敏彦⁴、小坂 健⁴、佐々木 啓一⁴、
鈴木 正敏⁵、篠田 壽⁴、福本 学⁶
¹ 東北大 高教機構、² 東北大院 理、³ 東北大 病院、⁴ 東北大院 歯、⁵ 東北大 災害機構、
⁶ 東京医科大

P5-09 福島第一原子力発電所事故による哺乳動物の被曝：歯を用いた ESR 線量計測

- 豊田 新¹、○戸高 安曇¹、村橋 美香¹、夏堀 雅弘²、
HARSHMAN Amber³、JOHNSON THOMAS³、伊東 節郎⁴
¹ 岡山理大 理、² 北里大 獣医、³ コロラド州立大学、⁴ 希望の牧場

- P5-10** 福島県内高線量地域における放射線マップ作成の取り組み
○太田 岳史、宮川 隆、向井 智哉、中川 恵一
東京大 医学部附属病院
- P5-11** 福島県富岡町における山菜中の放射性セシウム濃度の評価
○折田 真紀子、山口 拓允、松尾 政彦、平良 文亨、高村 昇
長崎大 原研 国際保健医療福祉
- P5-12** 広範囲被曝事故における線量データとがんリスクの関連性評価手法の比較
○廣田 誠子¹、土岐 博²
¹広島大 原医研 線量測定・評価、²大阪大 核物理研究センター
- P5-13** 原子力災害時の甲状腺モニタリングの標準化に向けた Sr12 (Eu) シンチレーションスペクトロメータの特性評価
○細田 正洋¹、岩岡 和輝¹、柚木 彰²、福原 隆宏³、今城 裕介³、
柏倉 幾郎¹、床次 眞司¹
¹弘前大、²産業技術総合研究所、³株式会社アドフューテック
- P5-14** 土壌に添加した放射性セシウムのラットにおける体内動態
○岩田 佳代子¹、窪田 卓見²、福谷 哲²、高橋 知之²、木梨 友子²、
高橋 千太郎²
¹京都大院 農 地域環境、²京都大 複合原子力科学研
- P5-15** 各種体液中のウラン及びプルトニウムのスペシエーション：錯生成反応に基づく検討
○上原 章寛、武田 志乃、田中 泉、石原 弘
量研・放医研 放射線障害
- P5-16** 東日本大震災後の家畜ウシにおける死亡リスク調査
○高萩 眞彦
量研・放医研 福島再生支援本部

P6 その他 (非電離放射線、環境影響、物理化学、教育)

11月8日(木) 16:20～17:50 ポスター会場 (3階)

- P6-01** ヒト皮膚由来表皮角化細胞および色素細胞における超高周波 (0.3THz) ばく露によるヒスタミン放出およびメラニン生成への影響
○小山 眞¹、成田 英二郎¹、清水 陽子¹、佐々木 謙介²、水野 麻弥²、
渡邊 聡一²、多氣 昌生³、篠原 真毅¹、宮越 順二¹
¹京都大 生存圏研究所、²情報通信研究機構、³首都大院 システムデザイン
- P6-02** ヒト骨髄由来幹細胞を用いた中性子線被ばく影響評価と防護剤効果
○中島 徹夫、二宮 康晴、丸山 耕一、小川原 亮、須田 充、根井 充
量研・放医研

- P6-03 弘前市内の湧水中のラジウム濃度とその線量評価**
○鳴海 雄貴¹、ヌグラハ エカ¹、田副 博文¹、鈴木 崇仁¹、城間 吉貴¹、
赤田 尚史²、真田 哲也³、古川 雅英⁴、岩岡 和輝¹、細田 正洋¹、
床次 眞司¹
¹弘前大、²核融合科学研究所、³北海道科学大、⁴琉球大
- P6-04 原発事故由来の放射性セシウムの環境減衰の地域因子の GIS による評価と被ばく量最小経路を求めるカーナビシステムの開発について**
○津田 和俊
(有) DMA
- P6-05 カイコをモデルとした昆虫類に対する内部被ばくの経世代影響**
○田中 草太¹、木野内 忠稔²、高橋 知之^{1,2}、牧 大介²、納富 昭弘³、
高橋 千太郎²
¹京都大院 農学、²京都大 複合研、³九州大院 医
- P6-06 核関連事故の際の安定ヨウ素剤とその代替物質に関する研究**
○本行 忠志、澤井 幸光、浪瀬 真大、石橋 倭生、口野 寛史、関 樹、
広瀬 翔大、山村 健太郎、上田 康之
大阪大 医 保健・放生
- P6-07 福島帰還困難区域内の野生メダカの放射線影響調査**
○丸山 耕一、府馬 正一
量研・放医研 福島再生
- P6-08 新たな高線量地域—フィリピン共和国サンビセンテにおける初期調査**
○岩岡 和輝¹、ローナジェーン パラド²、クリストファー メンドサ²、
フェ デラクルズ²、細田 正洋¹、床次 眞司¹、エリザ エンリケス²
¹弘前大、²フィリピン科学技術省 フィリピン原子力研究所
- P6-09 平衡等価ラドン濃度の簡便なスポット測定方法**
○迫田 晃弘、神崎 訓枝、田中 裕史
原子力機構 人形峠
- P6-10 DNA 立体構造の違いによる 2 本鎖損傷への影響について**
○羽根田 清文
広島国際大 保険医療
- P6-11 弘前大学におけるラドン較正場の空間分布及びその応用に関する考察**
○鈴木 崇仁、フー クン、森田 祐貴、ヌグラハ エカ、サプトラ ミキ、
玉熊 佑紀、岩岡 和輝、細田 正洋、床次 眞司
弘前大
- P6-12 パッシブ式静電捕集型ラドンモニタの改良と性能評価**
○岡野 杏奈¹、鈴木 崇仁²、玉熊 佑紀²、城間 吉貴²、岩岡 和輝³、
細田 正洋²、床次 眞司³
¹弘前大 医 保 放射線技術科学、²弘前大院 保 保健学専攻 放射線技術科学、
³弘前大 被ばく医療総合研究所 放射線物理学部門

P6-13 放射性エアロゾルの吸入にともなう線量評価のための基礎研究

○浅野 喬、鈴木 崇仁、玉熊 佑紀、岩岡 和輝、細田 正洋、
床次 眞司
弘前大

P6-14 原子力災害医療の現状と問題点

○廣橋 伸之¹、神谷 研二²
¹広島大 原医研 放射線災害医療研究センター 放射線医療開発、
²広島大 緊急被ばく医療推進センター